

平成16年3月17日(水)

京成ホテル ミラマーレ(6階ローズルーム)

—— 生産から消費に至るまでの安全確保を目指して ——

食

の安全・安心フォーラムinちば

【日程】

13:30 開会あいさつ
千葉県知事 堂本 暁子

13:40~14:20 基調講演
「食品の安全性確保のための仕組みについて」
内閣府食品安全委員会委員 見上 彪

14:30~15:30 パネルディスカッション
「安全・安心な食のためになすべきこととは」

コーディネーター 千葉県健康福祉部理事 北村 忠夫

アドバイザー 内閣府食品安全委員会委員 見上 彪

パネラー

●生活協同組合ちばコープ 常務理事 増田 博司

●千葉県消費者団体連絡協議会 副会長 文入 加代子

●農業 熱田 忠男

●株式会社 紀文食品 商品品質保証室長 中川 則和

●イオン株式会社 お客様サービス部長 笹川 恭広

15:30~16:00 会場との意見交換

16:00 閉会あいさつ
内閣府食品安全委員会委員 見上 彪

主催:内閣府食品安全委員会、千葉県

基調講演 食品の安全性確保のための仕組みについて

講師

内閣府食品安全委員会委員

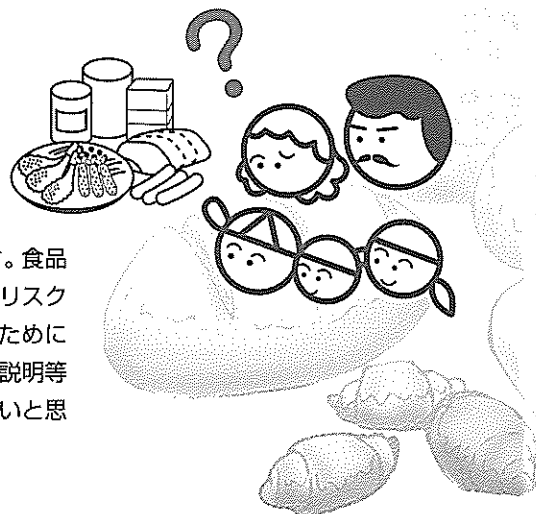
見上 彪

みかみ たけし

profile

北海道大学獣医学科卒業後、カリフォルニア大学において大学院博士課程修了。その後、札幌医科大学講師、ハノーバー獣医科大学研究員、北海道大学獣医学部助教授、東京大学農学部教授（現名誉教授）、帯広畜産大学教授、同原虫病研究センター長、日本大学生物資源科学部教授等を歴任し、平成15年7月から現職。

人や動物は毎日食べて生存します。食品には100%安全なものはなく、必ずリスクがあります。リスクを最小限にするために科学的ベースによる食の安全と事実説明等による食の安心を追求してまいりたいと思います。



パネルディスカッション 安全・安心な食のためになすべきことと

パネラー

生活協同組合ちばコープ

増田 博司

ますだ ひろし

profile

1979年ちば市民生協に入る。共同購入、店舗等の営業分野と商品分野に携わる。1990年、ちば市民生協とコープせいきょうが合同しちばコープに、さらに2002年に東葛市民生協とも合同し、現在、県内の45万世帯が加入。

- 一人ひとりの願いに応え、豊かで、安心して暮らせるように、
- 「原料」から「食卓」まで、食の安全を確保するに、総合的な取り組みを進めています。
- 一人ひとりの知りたいこと、聴きたいことに応え、安心をひろげます。
- ちばコープの基準にそった商品を豊富に揃え、くらしにあったモノが選べることで安心をひろげます。

パネラー

千葉県消費者団体連絡協議会

文入 加代子

ふみりり かよこ

profile

千葉県消費者団体連絡協議会副会長…1991年～現在。松戸市消費者の会会長…1988年～現在。（食関係委員）ちばエコ農産推進委員会委員、農林振興対策検討委員、農業改良普及活動外部評価委員、松戸市農産物ブランド化推進委員、松戸市公設地方卸売市場運営審議会委員、(財)食情報千葉ステーション（モニター）

千葉県消費者団体連絡協議会では、食品添加物や農薬、またその表示方法など生産・流通・販売状況における問題点等を調査・学習・啓発しています。県と国に遺伝子組み換え食品、有機農業ガイドライン、BSE、クローン牛などについての要望を行いました。千葉県の農業活性化、日本の農業の発展を願い、地産地消を推進し、次世代を担う子どもや若者たちへメッセージを送るとともに、共に「食の安全・安心」に取り組んでいきたい。

パネラー

農業

熱田 忠男

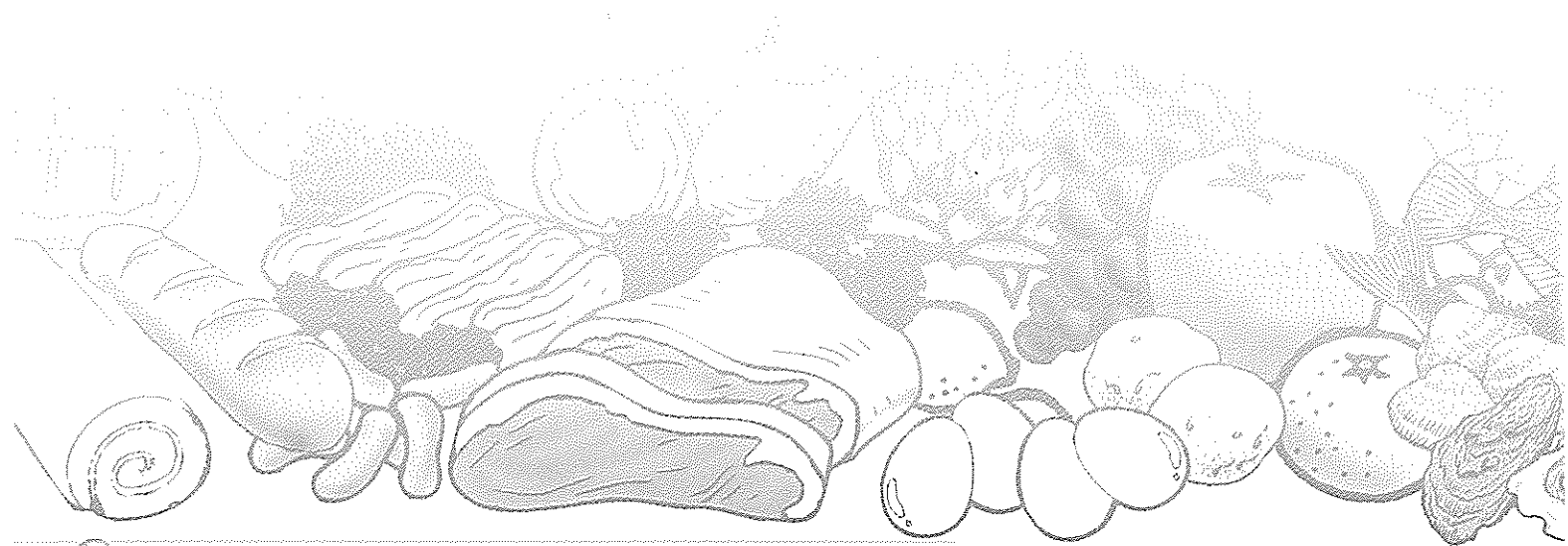
あつた ただお

profile

1969年カネミ油症・水俣病患者さん達との出会い。1971年ダム開発に疑問を持つ。1972年水資源開発公団を退職。「農」への道へ。1973年10月まで九州～北海道まで様々な農家へ研修。11月安全な野菜・米作りを始める。（農家の後継者と結婚）1977年消費者と「菜っ葉の会」を作り、暖農を基本、農業への理解を深める。現在に至る。

- 安全な食べ物（農産物）は、ただ台所にいて待っているはむずかしい。農業の現実を理解することが大切だということを通感認識とし、できるだけ田畑に出かけて援農をしながら「いかにしたら安全なものができるか」手足を使って相互の理解を深める。
- 田植、収穫祭、味噌作り、モチ作りなども企画。
- 地域全体の環境を今後は考えていかねばならない。消費者と共にどう取り組んでいくか検討している。

食の安全・安心フォーラムinちば



パネラー

株式会社 紀文食品

商品品質保証室長

中川 則和

なかがわ のりかず

profile

1970年株式会社紀文(現 紀文食品)に入社。技術開発部長、研究開発部長、静岡工場長、東京工場長、開発設計部長、ISO推進室長、技術開発本部長等を歴任後、現職。

「疑わしきは製造せず、疑わしきは販売せず」をモットーに、製造から販売までの品質管理を行い、お客様に安心して召し上がっていただける商品をお届けして参りました。

近年は、ISO9001やHACCPなどの衛生管理手法を導入し、従来あった品質管理の仕組みのレベルアップを図っています。

昨今の輸入原材料の残留物質問題等から、従来以上に原材料の安全性について確認し、全社員を対象に毎月1回の検便を実施するなど、安全性の確保を推進しています。

パネラー

イオン株式会社

お客様サービス部長

笹川 恭広

ささがわ やすひろ

profile

1980年ジャスコ(現イオン)株式会社に入社。店舗・スタッフ勤務経験をし、1998年岐阜県大垣店長、2002年茨城県取手店長経験後、2003年5月より現職。現職では、お客様相談・品質管理グループ業務を担当。

「食の安全・安心」に関するお客様の関心は大変高く、イオンでは、お客様にわかりやすく情報を開示し、お客様のご意見を取り入れ、お客様の視点に立った商品開発・店舗運営を通じ、「食の安全・安心」をご提供いたしております。

具体的な取組として、農産物の生産情報の開示、国内産牛肉の生産履歴の開示を行っております。自社開発商品「トップバリュ」は、安全・安心・正直にこだわり、お客様の声を取り入れて開発し、また食物アレルギー物質、遺伝子組換え原材料を一括表示外に欄を設け、表示いたしております。

コーディネーター

千葉県健康福祉部理事

北村 忠夫

きたむら ただお

profile

1970年宇都宮大学大学院農学研究科卒業後、千葉県に奉職。本庁及び保健所において食品衛生監視員として食品衛生行政に携わる。衛生指導課長、健康福祉部副技監、健康福祉部技監を歴任するとともに、全国食品衛生監視員協議会長に就任。2002年から現職。

現在、NPO法人食品保健科学情報交流協議会リスクコミュニケーション部会長。

「安全」とは根拠に基づく科学的判断であり、「安心」とは信頼に基づく心の判断であると思います。BSE対策の経験などから、食の安全に対する行政、食品生産者等の取り組みが科学的に裏付けられているとして消費者に信頼され、不安が解消され、問題点が理解されてはじめて食への安心が得られるものと考えます。



Lined area for writing a memo, consisting of 25 horizontal dashed lines.

お問い合わせ

千葉県 健康福祉部 衛生指導課 食品安全対策室

〒260-8667 千葉市中央区市場町1-1

TEL 043-223-2626 FAX 043-227-2713

食品衛生県民ダイヤル

TEL 043-221-6000

基調講演

「食品の安全性確保のための仕組みについて」

講師変更のお知らせ

本日の基調講演講師は、内閣府食品安全委員会 見上 彪委員から、
内閣府食品安全委員会 寺尾 允男委員に変更となりました。
御了解のほど、よろしく願いいたします。

てらお ただお
寺尾 允男（内閣府食品安全委員会委員長代理）

profile

東京大学薬学部卒業後、同大学大学院化学系研究科薬学専攻博士課程修了。

その後、東京大学薬学部助教授、旧国立衛生試験所（平成9年より国立医薬品
食品衛生研究所に改称）放射線化学部長、機能生化学部長、薬品部長、所長を
歴任し、平成12年7月より（財）日本公定書協会会長に就任。

退任後、平成15年7月より現職。

科学性と中立・公正という、食品安全委員会が求められている
基本姿勢を守り、食の安全性に対する国民の皆様方の信頼を取り
戻すために、これまでの私の経験を生かし全力を尽くします。